

月録：「生・労働・運動ネット」——困民の旗は その折々の風にはためき……2007年4月～2010年6月

2007年	アンラーニングプロジェクト	試行錯誤：すべての生の無条件の肯定へ
4月	<p>私たちが知らずの内に身につけている、「自己責任論」といった支配の側の価値観を「学び捨てる」(unlearn)ための自由な討論・学びの場として、「アンラーニングプロジェクト」が、スタート。</p> <p>アンラーニングプロジェクト07年度 前期：反ネオリベ的「遠近法」を獲得するために 第1回：坂幸夫（富山大） 『『日本型雇用システム』の解体と再編——労働経済の視点から』 補註：I-00</p>	<p>『もうたくさんだ！』大行進では、最初に、「すべての者に基本所得を！」と書いた横断幕を掲げて、「連合」主催のメーデー会場を一巡。その後、それぞれの参加者が、「こんな世の中では生きてはいけない！」、「こんなことはもうたくさんだ！」と思うことを訴えながら、富山市内中心部でデモ・街頭アピールを行う。</p> <p>●路上会合：『『もうたくさんだ！』大行進——『<sup>きゆうそ</sup>窮鼠（追いつめられたネズミ）』の乱の始まりへ』 補註：II-00</p>
5月		<p>『もうたくさんだ！』大行進を行ったことをどのような形で継続していくかという論議から、それを一緒に行った障害者やその支援者の人たちと共に、「生の保障」研究団・勉強会をスタートさせる。</p> <p>○「生の保障」研究団・勉強会 第1回： 「3.24東京集会宣言文」を題材に （「生の保障」研究団・勉強会 第1回～第6回のアウトラインについては、補註：II-00）</p>
6月	<p>前期：反ネオリベ的「遠近法」を獲得するために 第2回：坂幸夫（富山大） 『『日本型雇用システム』の解体と再編</p>	

	—労働経済の視点から]	
7月	前期：反ネオリベ的「遠近法」を獲得するために 第3回：坂幸夫（富山大） 『日本型雇用システム』の解体と再編 —労働経済の視点から]	○「生の保障」研究団・勉強会 第2回： 朝日新聞掲載「シリーズ『分裂ニッポン』」を題材に
8月	前期：反ネオリベ的「遠近法」を獲得するために 第4回：報告 「労働法『改正』は労働現場に何をもたらすのか」	
9月	アンラーニングプロジェクト07年度 後期：ネオリベ的遠近法を超えて —今、 <sup>しゅつたい</sup> 出来 しつつあるアクション群 第1回：渋谷望（千葉大） 『生』が運動になるとき (第1回の詳細については、「生・労働・運動 パンフレットNo.1」参照)	○「生の保障」研究団・勉強会 第3回： 朝日新聞掲載「シリーズ『分裂ニッポン』」を題材に
10月		○「生の保障」研究団・勉強会 第4回： 後藤道夫「日本型社会保障の構造：その形成と転換」を題材に
11月	後期：ネオリベ的遠近法を超えて —今、 <sup>しゅつたい</sup> 出来 しつつあるアクション群 第2回：小倉利丸（富山大） 「アウトノミアからオルタナティブグローバリゼーションへ そしてG8を迎え撃つ」	○「生の保障」研究団・勉強会 第5回： 後藤道夫「社会保障改革の現段階と『構造改革』第2幕」を題材に ●「富山市の『ホームレス』対策」をめぐって、申入れ書と質問状を提出。 補註：Ⅲ-

	(第2回の詳細については、「生・労働・運動 パンフレットNo.1」参照)	富山市内の「ホームレス」存在の人々の状況を市としてどう把握し、どのような対策を講じているのかについて、市の関係部局を訪ねて聞き取りを行う。その聞き取りを通じて、市としての「ホームレス」存在に関する対策は特に存在せず、関係部局同士の連携もごく限定されたものでしかないといった実態が改めて明らかになる。その結果を受けて、上記の申入れ書と質問状を市に提出する。
12月	後期：ネオリベ的遠近法を超えて —今、 <sup>しゅつたい</sup> 出来 しつつあるアクション群 第3回：埴野謙二（生・労働・運動ネット） 「〈背後の未来〉が現在と出会うとき ——浦島太郎物語 Part 1」	1

2008年	アンラーニングプロジェクト	試行錯誤：すべての生の無条件の肯定へ
1月	後期：ネオリベ的遠近法を超えて —今、 <sup>しゅつたい</sup> 出来 しつつあるアクション群 第4回：埴野謙二（生・労働・運動ネット） 「〈背後の未来〉が現在と出会うとき ——浦島太郎物語 Part 2」 (第4回の詳細については、「生・労働・運動 パンフレットNo.2」参照)	○「生の保障」研究団・勉強会 第6回： 宮本太郎「ポスト福祉国家のガバナンス 新しい政治対抗」を題材に ●「困民丸」—富山市の路上生活者へ対応をめぐって抗議文を提出。  私・たち「生・労働・運動ネット」も含めて、富山市内の「ホームレス」存在の人々の問題に関心を寄せる者たちが今後の支援のあり方をめぐって何度か話し合いの場をもち、「路上生活者支援ネット・困民丸」がスタートする。その後、炊き出しや生活支援、生活保護取得を望む者の支援を始める。

<p>2月</p>		<p>○「生の保障」研究団・勉強会 第7回：  ●「困民丸」－炊き出し（牛島公園）スタート。 補註：Ⅲ－</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>富山駅裏の牛島公園で、冷たい雨の中、テントを張り、石油ストーブを焚いて最初の炊き出しを行うが、用意した30食のカレーライスがすぐになくなる。その後の炊き出しでは、毎回、20～30食の食事を用意すると共に、炊き出し用テントの傍らで相談活動を行う。</p> </div> <p>2</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>G8サミットへの反対の声を富山からも上げていきたいという思いから、「富山平和運動センター」に呼びかけて、「G8を問う！共同行動・富山」を結成。連続学習会を経て、洞爺湖サミット直前の7月初旬に街頭行動を企画。</p> </div> <p>★G8を問う！共同行動・富山  連続学習会・G8を問う  第1回：越田清和（G8サミット市民フォーラム北海道）  「G8は平和に貢献するか」 補註：Ⅳ－1</p> <p>●「困民丸」－炊き出し（牛島公園）</p>
<p>3月</p>	<p>後期：ネオリベ的遠近法を超えて  —今、出来<sup>しゅつたい</sup>しつつあるアクション群  第5回：平井玄（音楽批評）  「背後の未来」を「不可視」の未来へかけわたす  —自註：「ミッキーマウスのプロレタリア宣言」  （第5回の詳細については、「生・労働・運動 パンフレットNo.2」参照）</p>	<p>○「生の保障」研究団・勉強会 第8回：  ●「困民丸」－富山市に要望書を提出し、市に対して改めて「ホームレス」存在への公的支援を要請する 補註：Ⅲ－3  ●「困民丸」－炊き出し（牛島公園）  ★G8を問う！共同行動・富山  連続学習会・G8を問う  第2回：小倉利丸（富山大・G8を問う連絡会）  「私たちの課題は何か」 補註：Ⅳ－</p>

4月		<p>9</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●「困民丸」－炊き出し（牛島公園）</li> <li>●生活保護取得支援や生活支援を更に積極的に進めるため、「困民丸第2相談所」を「生・労働・運動ネット」事務所に開設する。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>「ホームレス」存在の人々が、とりあえず住居を確保した後で、アルコール依存など、それまで社会から排除されてきた生き方の中で累積されてきた問題が顕在化してしまうことにどう対応するのかが、「困民丸」としての大きな課題になる。また、「ホームレス」存在の人々の「自立」をめぐる考え方の相違から、「困民丸」の活動から離脱する人たちもでてくる。それらのことも、「困民丸第2相談所」を開設する契機となる。</p> <p>（「困民丸相談所」としての取り組みを「中間総括」したものとしては、P～参照） この文書が見つかりません</p> </div> <p>★G8を問う！共同行動・富山      県民集会：武藤一羊（ピープルズ・プラン研究所）      講演：「モウタクサンダ！G8のやりたい放題 世界の未来は私たちが創る」 補註：IV-1</p> <p>8</p>
5月	<p>アンラーニングプロジェクト08年度          前期：資本主義を見限る          オープニング：提起          「生・労働・運動の現在と課題」 補註：II-00</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>それまでの「路上会合」の参加者同士で学習会を進めるというスタイルから、更に多くの人たちと共に「生の保障」の問題を考えあうことに向けて、「生活保護制度」をテーマとして、08年度の同「プロジェクト」がスタート。</p> </div> <p>○「生の保障」研究団・08年度プロジェクト</p>

		<p>「生（多重）困難者」とは〈だれ〉か？——「生活保護制度」の実態を探る</p> <p>オープニング</p> <p>補註：Ⅱ－00</p> <p>●「困民丸」－炊き出し（牛島公園）</p>
6月		●「困民丸」－炊き出し（牛島公園）
7月	<p>前期：資本主義を見限る</p> <p>第1回：</p> <p>①レポート 「まんが 反資本主義入門・第1章を読む」</p> <p>②：報告 「芸大ネグリイベント」と「G8直前東京行動」に参加して</p> <p>補註：Ⅱ－00</p>	<p>○「生の保障」研究団・08年度プロジェクト</p> <p>第1回学習会：</p> <p>NHKスペシャル・「セーフティネットクライシス」を観る</p> <p>●「困民丸」－炊き出し（牛島公園）</p> <p>★G8を問う共同行動・富山</p> <p>「街頭アピール——異議ありG8サミット！」</p> <p>富山駅前CIC前広場での事前集会の後、約100人の参加者と共に、富山市内中心部でデモ・街頭アピール。</p> <p>補註：Ⅳ－24</p>
8月	<p>前期：資本主義を見限る</p> <p>第2回：</p> <p>①：レポート 「まんが 反資本主義入門・第2章を読む」</p> <p>②：報告 「3月『反貧困フェスタ』から5月『G8新潟労働大臣会合』まで」</p>	<p>○「生の保障」研究団・08年度プロジェクト</p> <p>第2回学習会：</p> <p>「生活保護制度」の改変動向をつかむ</p> <p>●「困民丸」－富山市社会福祉事務所に対して、生活保護受給者に対する、市の「指導指示書」の出し方をめぐる質問書を提出。</p> <p>補註：Ⅲ－5</p>
9月	<p>前期：資本主義を見限る</p> <p>特別企画：小倉利丸（富山大・G8を問う連絡会） ・藤岡彰弘（生・労働・運動ネット） 富山県農民連から</p> <p>「『アフターG8』——私たちはそこからどこへむかうのか？洞爺湖G8サミット対抗アクションを振り返る」</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>「多重債務者」の問題に関わる富山県司法書士会有志メンバーとの共同企画として、「富山共同行動のつどい」を開催。小久保哲郎さん（生活保護問題対策全国会議）を迎えての講演会の他、富山で貧困問題に関わる人たちの新たな結合・ネットワーク作りへの呼びかけが行なわれる。</p> </div> <p>「モウタクサンダ！『生の保障』破壊 富山共同行動のつどい——</p>

<p>10月</p>		<p>反貧困キャラバン08と結びあう」</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>「富山共同行動のつどい」での呼びかけを受けて、「『生の保障』の再生を求めるネットワーク富山」(「生・保ネット」)が発足。以後の例会で、富山での「セーフティネット」の現状や、「生の困難」の現場から見える制度の問題点、「生の困難者」支援の仕組みの「先進例」等をめぐる学習会・討論を進める。</p> </div> <p>○「生の保障」の再生を求めるネットワーク富山 例会スタート。第1回例会では、「生・保ネット」の「リーフレット」を題材として、今後の進め方をめぐる論議を行う。 補註：Ⅱ-00</p>
<p>11月</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>「現代の米騒動」とも自称／他称されもするこの国の「保障されざる者」たちの運動と、90年前の「米騒動」とを私・たちはいかに交差させるのかという「問い」をめぐって、2回にわたり、「ラウンドテーブル」を開催。「生の保障」の破壊に抗する民衆の新たな集合性・主体性の可能性を探る。</p> </div> <p>ラウンドテーブル：平井玄（音楽批評）・山口 素明（フリーター全般労組）、埴野謙二（生・労働・運動ネット）  「『米騒動』から90年私・たちは『米騒動』から何を受け取るのか？Part1」</p>	<p>○「生の保障」の再生を求めるネットワーク富山 例会  「反貧困キャラバン」からの提起を受けて、県の市町村自治体の議会や行政に対する「セーフティネット」の充実を求める請願・要請をめぐり論議する。</p> <p>●「困民丸」－市社会福祉事務所に対して、「切迫困窮者」への対応をめぐる質問書を提出。後日、同「質問書」の回答の際に、その内容をめぐる交渉を行う。 補註：Ⅲ-8</p>

12月	<p>ラウンドテーブル：埴野謙二（生・労働・運動ネット）</p> <p>「『米騒動』から90年私・たちは『米騒動』から何を受け取るのか？Part2」</p>	<div data-bbox="1155 169 1939 408" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>東京での「派遣村」の試みと軌を一にして、富山でも「派遣切り」当事者への支援の一環として、「派遣切り」当事者の人たちが職探しに訪れるハローワークでの炊き出しを計画。「ハローワーク富山」との何度もの交渉の末、年末と年始の2回、同敷地内の駐車場で炊き出しを行うことをついに認めさせる。</p> </div> <p>●「困民丸」－「ハローワーク富山」駐車場で「年末」炊き出し 補註：Ⅲ－12</p>
-----	--	---



2009年	アンラーニングプロジェクト	試行錯誤：すべての生の無条件の肯定へ
1月	アンラーニングプロジェクト08年度 後期：「現代の米騒動」をさぐる 第1回：報告 「フリーター労組は反撃する！」	<ul style="list-style-type: none"> <li>●「困民丸」「ハローワーク富山」駐車場で「年始」炊き出し 補註：Ⅲ-12</li> <li>○「生の保障」を求めるネットワーク富山 例会 県議会と県内の8つの自治体の議会に対する、「定額給付金」を基にした生活困窮者への「生活支援基金」の設立を求める請願について検討する。</li> <li>●「困民丸」-富山市と市社会福祉事務所に対する要望書を提出。 補註：Ⅲ-13</li> <li>●「困民丸」-炊き出し（牛島公園）</li> </ul>
2月	後期：「現代の米騒動」をさぐる 第2回：上映+討論 映画「素人の乱」（08年 中村友紀監督）	<ul style="list-style-type: none"> <li>★「富山憲法フェスタ」(富山平和運動センター主催)参加企画 ゲスト：鈴木剛（フリーター全般労組） 「いま この時こそ『憲法フェスタ』 いま この時こそ『困民マニフェスト』」</li> </ul>
3月	後期：「現代の米騒動」をさぐる 第3回：報告 「『反貧困』 ネットが問いかけるもの」	<ul style="list-style-type: none"> <li>●「困民丸」-炊き出し（牛島公園）</li> <li>○「生の保障」の再生を求めるネットワーク富山 例会 「レポート：大阪府社会福祉協議会『社会貢献事業』の取り組みについて」</li> </ul>
4月		<ul style="list-style-type: none"> <li>●「困民丸」-炊き出し（牛島公園）</li> <li>○「生の保障」の再生を求めるネットワーク富山 例会 「報告：『路上』から見えるこの社会——『ホームレス』当事者と支援者のあいだで」</li> </ul>

<p>5月</p>	<p>アンラーニングプロジェクト09年度  前期：グローバル経済の破綻は私たちの失敗ではない  オープニング：提起  「社会運動の現在的課題——『今のようではない生』  の創造の〈鍵〉をさぐる」    補註：Ⅱ-00</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>「生の保障」を破壊してきたあげくに「自壊」し始めたネオリベ資本主義とその信奉者たちへの「退場宣言」をつきつけないという思いから、『アブレ者』の路上会合を企画。「全ての者に無条件で基本所得を給付せよ！」等のスローガンを唱えながら、富山市中心部でデモ・街頭アピール。また、デモの後、市内の児童公園の空き地で行った交流会では、デモの感想や参加者の日頃の思いを語りあう。</p> </div> <p>●路上会合：『アブレ者』の路上会合——『今のようではない生』の創造へ向かうことの始まりへ  補註：Ⅴ-1</p>
<p>6月</p>	<p>前期：グローバル経済の破綻は私たちの失敗ではない  第1回：報告  『自由と生存のメーデー09』  + 『アブレ者の路上会合09』</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>「ホームレス」存在への支援のあり方をめぐる考え方の相違から、それまで「困民丸」として、共に炊き出しや生活相談等の支援活動を行っていた者たちが、それぞれ別個に支援活動を行うことになる。私・たち「生・労働・運動ネット」は、「困民丸」としての活動を継続する。  補註：Ⅲ-14</p> </div>
<p>7月</p>	<p>前期：グローバル経済の破綻は私たちの失敗ではない  第2回：レポート  「全ての者に無条件で基本所得を！——山森亮『ベーシックインカム入門』（光文社新書）を読む」Part1  補註：Ⅱ-00</p>	<p>○「生の保障」の再生を求めるネットワーク富山 例会  「湯浅誠・富山講演会の記録映像を見る」</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>「困民丸」として、「ホームレス」状態にあった人たちのアパート入居後の生活支援を行う中で、とりわけ、「食」への支援の必要性を強く感じる。そのような思いから、「食」の贈与—受贈という「フードシェア」の営みを支えあうための関係を豊かに創りだすことに向けて、「フードシェア・コレクティブ」への参加を呼びかける。</p> </div> <p>●『「フードシェア」の試みをめぐって『意見交換』のつどい』を開催。</p>

8月	<p>前期：グローバル経済の破綻は私たちの失敗ではない 第3回：小倉利丸（富山大） 『今のような生』の創造への〈鍵〉をさぐる 補註：Ⅱ-00</p> <p>前期：グローバル経済の破綻は私たちの失敗ではない 第4回：レポート 全ての者に無条件で基本所得を！——山森亮『ベーシックインカム入門』（光文社新書）を読む』Part2 補註：Ⅱ-00</p>	<p>●「フードシェアコレクティブ」として、廃棄される野菜類の「無償提供」・活用の可能性を探るため、富山中央市場青果部を見学する。</p>
9月		<p>●「フードシェアコレクティブ」例会 報告「中央市場見学」</p> <p>○「生の保障」の再生を求めるネットワーク富山 例会 「生・保ネット」でのこれまでの論議を振り返ると共に、今後の「生・保ネット」の取り組み・課題をめぐる論議を行う。</p>
10月	<p>前期：グローバル経済の破綻は私たちの失敗ではない 第5回：レポート 「大野和興・西沢江美子『食大乱の時代——"貧しさ"の連鎖の中の食』（七つ森書館）を読む』 補註：Ⅱ-00</p>	<p>●「フードシェアコレクティブ」例会 フードバンク「あうん」探訪記</p>
11月	<p>アンラーニングプロジェクト09年度 後期：「今のような生」の創造への〈鍵〉をさぐる オープニング：提起 「私の、私・たちのオルタナティブ——その核心にあるもの」 補註：Ⅱ-00</p>	<p>○「生の保障」の再生を求めるネットワーク富山 例会 これまでの富山での「ホームレス」支援のあり方を振り返ると共に、今後の「生・保ネット」の進め方をめぐる論議を行う。</p> <p>★「富山憲法フェスタ」（富山平和運動センター主催）参加企画 「シネセッション：もし憲法『を』生きたいのであれば・・・ 映画『生きてるうちが花なのよ 死んだらそれまでよ党宣言』を観て考える」</p>
	<p>後期：「今のような生」の創造への〈鍵〉をさぐる</p>	<p>○「生の保障」の再生を求めるネットワーク富山 例会</p>

12月	<p>第1回：報告 「模索のための『他山の石』—— 『民主党マニフェスト』をあらためてながめる」 補註：Ⅱ-00</p>	<p>「子どもの貧困」の問題をめぐるレポートと論議を行う。 ●「フードシェアコレクティブ」例会 協力へのアプローチについて リーフレット検討 補註：Ⅲ-17</p>
-----	--	--

2010年	アンラーニングプロジェクト+オルタセミナー	試行錯誤：すべての生の無条件の肯定へ
1月		●「フードシェアコレクティブ」例会 「初夢ひろがるシェア活動」
2月	<p>アンラーニングプロジェクト2010年度 前期：私・たちと沖縄——〈と〉のざわめきから／へ 第1回：提起 「私・たちと沖縄——私の思い・私の問い」 補註：Ⅱ-00 後期：「今のようではない生」の創造への〈鍵〉をさぐる 第2回：報告 「すべての〈生〉の無条件の保障へ ——『生活保護制度』改革をさぐる」補註：Ⅱ-00</p>	
3月	<p>前期：私・たちと沖縄——〈と〉のざわめきから／へ 第2回：ムービースタディー 「『沖縄、イメージの<sup>エッジ</sup>縁』 ——『博徒外人部隊』（71年 東映 深作欣二監督）」 後期：「今のようではない生」の創造への〈鍵〉をさぐる 第3回：樋口拓朗（キッチンアクティビスト・「抵抗食の会」） 「象徴的大衆行動と日常実践——『シアトル』以降のキッチンアクティビズムの現場から」</p>	●「フードシェアコレクティブ」例会 活動の幅を広げていくために ——ラテン・アメリカでの取組から——

		補註：Ⅱ－00
4月	<p>前期：私・たちと沖縄——〈と〉のざわめきから／へ 第3回：提起 「沖縄の〈声〉と呼びかけあう政治表現を考える」 補註：Ⅱ－00</p>	<p>●「フードシェアコレクティブ」 8 補註：Ⅲ－1</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>「基地をどけろ！」と叫ぶ沖縄の〈声〉と私・たちもこの富山から呼びかけあいたいという思いから、下記の「路上会合」を企画。「沖縄のことは沖縄に！東アジアの人々とともに『民衆の安全保障』の『環』を！」をメインスローガンに掲げて、富山市中心部でデモ・街頭アピールを行う。</p> </div> <p>「オープン花見会」を神通川畔・塩の千本桜で行う。</p> <p>●路上会合：沖縄の〈声〉と呼びかけあう私・たちの〈声〉を！」 補註：Ⅵ－1</p>
5月	<p>前期：私・たちと沖縄——〈と〉のざわめきから／へ 第4回：討論 「私・たちの〈声〉を交差させあう」補註：Ⅱ－00</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>「普天間・辺野古移設案」がなしくず的に「公式発表」されようとする状況に対する憤りから、再び沖縄をめぐる「路上会合」を企画。富山市中心部でデモ行進しながら、改めて大きく〈声〉を上げて、「前政権時代の日米合意の白紙撤回！」、「普天間の即時無条件閉鎖！」を訴える。また、それらのスローガンと併せて、多くの参加者がハンドマイクを通じて、沖縄の〈声〉と呼びかけあおうとするそれぞれの思いを街頭で〈声〉に出し、アピールを行う。</p> </div> <p>●路上会合：沖縄の〈声〉と呼びかけあうことを日本の構成的解体の始まりに！」 補註：Ⅵ－4</p>

6月

07年4月から続けてきた「アンラーニングプロジェクト」に変わり、「プロジェクトA:いくつもの『日本』へ」と、「プロジェクトB:いくつもの『民』から」という2つ「プロジェクト」を軸に、「オルタセミナー」が新たにスタート。私たちを生かさなないこの世界を壊すことが、同時に、「今のようではない」世界を創り出すことでもあるということがどのように可能かをめぐり、論議を進めることを目指す。

オルタセミナー2010年度

「日本」の構成的解体を模索する

第1回：提起

「イントロダクション：オルタセミナーを始める  
にあたって」

補註：Ⅱ-00